

ファイナンシャル・サービス事業

『貯蓄から投資へ』『ブロードバンド化の進展』等の良好な事業環境の中、安定的収益部門として順調に収益を拡大

ファイナンシャル・サービス事業の主要企業

- ・ SBIホールディングス(株)(ファイナンシャル・サービス事業本部)
- ・ モーニングスター(株).....大証ヘラクレス上場(Code:4765):投資信託を主体とした金融商品の評価情報の提供
- ・ ゴメス・コンサルティング(株).....大証ヘラクレス上場(Code:3813):ウェブサイトの評価・ビジネス支援
- ・ SBIペリトランス(株).....大証ヘラクレス上場(Code:3749):EC事業における電子決済サービスの提供
- ・ SBIテクノロジー(株).....アカウントアグリゲーションソフト「MoneyLook」など金融分野向けソフトの開発・提供
- ・ SBIイコール・クレジット(株).....個人向け無担保消費者ローン事業、事業者向けローン事業
- ・ SBIリース(株).....IT分野を中心とした総合リース業
- ・ SBIカード(株).....マスターカードブランドの「SBIワールドカード」の発行等、クレジットカード関連事業

公開各社 通期業績

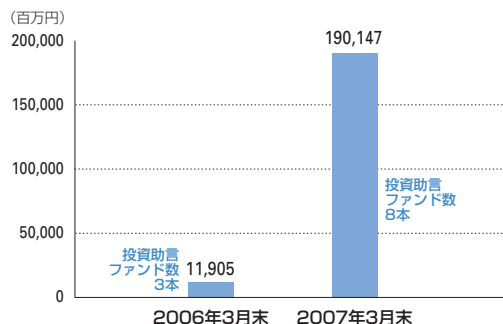
(単位:百万円)
()内は対前年同期比(%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
モーニングスター 2006年12月期通期※	1,628 (+29.3)	431 (+71.0)	537 (+103.9)	672 (+155.5)
ゴメス・コンサルティング 2006年12月期通期※	512 (+37.6)	160 (+25.6)	159 (+25.3)	93 (△1.4)
SBIペリトランス 2007年3月期通期	2,812 (+46.8)	592 (+47.8)	588 (+48.9)	336 (+32.6)

※ モーニングスター、ゴメス・コンサルティングにつきましては、決算期を12月から3月にしたことにより2008年3月期は2007年1月1日から2008年3月31日までの1年3ヶ月決算となります。

モーニングスター・アセット・マネジメントが投資助言を行なうファンド・オブ・ファンズの運用残高

投資助言を行なうファンド・オブ・ファンズの残高増加に伴い、ライセンスフィーが拡大する



日本郵政公社に提供する情報誌が国内最大のマネー誌へ

2007年1月横浜銀行5万部、2007年4月関西アーバン銀行が6万部の無料情報誌提供開始



日本郵政公社
(12万部提供)



横浜銀行
(5万部提供)



関西アーバン銀行
(6万部提供)

ファイナンシャル・サービス事業においては、「貯蓄から投資へ」「ブロードバンド化の進展」「制度改革」などの時流に乗り、グループ各社を取り巻く良好な事業環境がさらに好転している状況の中、引き続き好調に業績を拡大させ、安定的収益部門としての当部門の貢献度を高めております。

「貯蓄から投資へ」の流れをとらえ 好調なモーニングスターとゴメス・コンサルティング

投資信託の評価情報等を提供するモーニングスターは、資産運用ニーズの高まり等を背景に、2008年3月期中間期(*)の連結売上高は1,988百万円(前年同期比132.5%増)、営業利益は419百万円(同59.2%増)となり、大幅な増収増益となりました。インターネット広告収入や資産運用助言サービスの運用残高が拡大したほか、新たに子会社化した広告代理店のエージェンツ・オール及び証券専門新聞として国内最大の発行部数を誇る株式新聞社も収益に寄与しました。

モーニングスターが日本郵政公社向けに提供するフリーマガジン「幸せのレシピ」は、2007年3月時点で1,155の郵便局へ12万部を発行しています。今後、日本郵政公社は投信販売局の拡大と無料情報誌の20万部への増加を予定しており、これが実現すると国内最大の発行部数を誇るマネー誌となります。この他にも、2007年1月より横浜銀行へフリーマガジン「ラ・ラ・ラ」を5万部、関西アーバン銀行へ同じく「これ・から」を6万部提供しています。

2006年8月に大証ヘラクレス市場に株式上場を果たした同社子会社のゴメス・コンサルティングは、銀行向けのモバイルサイト企画・設計業務や証券会社向けのウェブサイト分析業務等が順調に推移し、2008年3月期中間期決算(*)は、売上高が321百万円(前年同期比29.2%増)、営業利益が113百万円(同38.3%増)となり、大幅な増収増益となりました。

(*)2007年1月1日~2007年6月30日

「ブロードバンド化の進展」で成長が加速するSBIペリトランス

SBIペリトランスはEC(電子商取引)市場やクレジットカード市場の拡大等を背景に順調に成長を続け、2007年3月期では、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の全項目において、過去最高(単体)を更新しました。2007年3月期のトランザクション件数は2,788万件(前年度比31.1%増)、利用店舗数は3,060店舗(2007年6月末現在)と、順調に増加させております。

2006年10月からサービスを開始した「VeriTrans電子マネー」は、EC店舗の電子マネー導入を支援するサービスであり、金融機関(電子マネー事業者)については、SuicaとEdyの両方に対応しております。現在モバイルSuica・Edy両方を一元的に導入可能なのは、ベリトランスのみであり、今後も各種電子マネーへの対応を図っていく予定です。

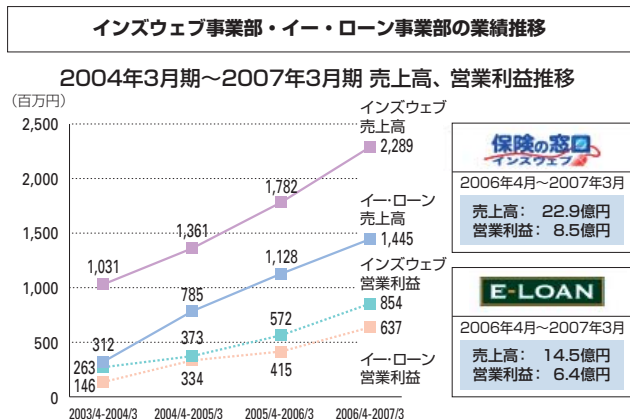
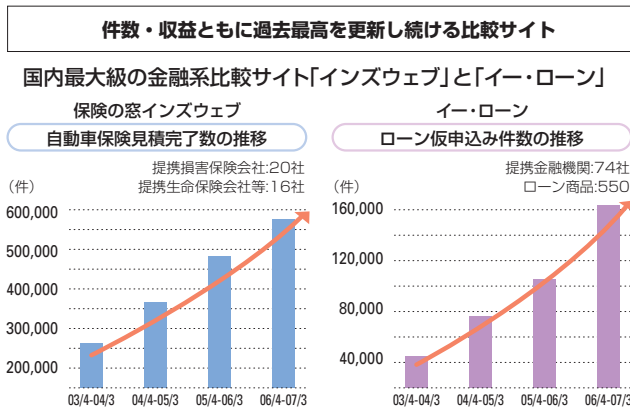
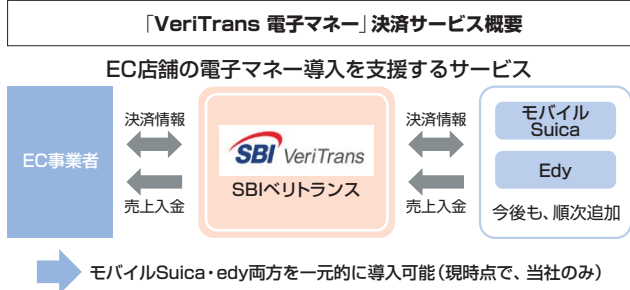
**件数・収益ともに過去最高を更新し続ける
国内最大級の金融系比較サイト**

「インズウェブ」「イー・ローン」を中核とする、保険やローン商品の比較・見積もりサイトを運営する当社マーケットプレイス事業においては、好調なモバイルサイト経由での取引などを背景に順調に利用者が増加し、年間約80万人が見積もりなどの取引を行っています。「インズウェブ」が提供する自動車保険一括見積もりサービスでは、利用者が延べ200万人を突破するなど、大手ポータルサイトへのコンテンツ提供や付加価値の高い情報提供に努め、更なる認知度向上と利用者数の拡大を継続しています。

**同業他社が減益となるなか、営業開始から2年半で
単年度黒字化を達成したSBIイコール・クレジット**

消費者・事業者向けローン事業を手がけるSBIイコール・クレジットは、貸付残高が約174億円、貸付口座数は4万9千件(ともに2007年6月末現在)と大幅に増加しており、同業他社が減益となる中、営業開始から2年半で単独黒字化を達成するなど、業績は順調に推移しております。

出資法の上限金利の引き下げが議論されている中で、当社においては自動審査システムをASPで提供するビジネスモデルを構築し、ASPサービスによるフィー収入など収益構造の多様化を目指してまいります。また、上限金利の利息制限法水準までの引き下げに対応して、新金利帯を適用したパーソナルローン新商品「イコール・クレジットNEO」のサービスを2007年4月に開始しております。



COLUMN 生活関連ネットワーク事業

結婚・子育て・住宅購入等のライフイベント・ライフシーンにおいて、そこから派生する金融分野のみならず、その他分野の様々なニーズに応える為のネットワークを構築

生活関連ネットワーク事業では、総合比較ポータルサイト「比較ALL」や、コミュニティ型地域・生活情報サイト「生活ガイド.com」、興行チケットの個人間売買仲介サイト「チケット流通センター」を柱に10を超えるサイトを運営しており、SBIグループの新たなコアビジネスの一つとしてその取り組みを本格化させております。

約20万人の延べ利用者数を誇る「引越し達人セレクト」などの比較・検索サイトを運営するインターネットメディア事業部および、登録会員数が10万人を突破した「チケット流通センター」を運営する仲介マーケット事業部は、2007年3月期に通期黒字化を達成、合算経常利益は1億円超となりました。

